

第29回青森県原子力政策懇話会

日時：令和2年11月2日（月）

13：00～

場所：ホテル青森3階 孔雀の間

次 第

1 開 会

2 知事挨拶

3 出席者紹介

4 座長選出

5 案 件

（1）六ヶ所再処理工場の新規制基準適合に係る事業変更許可について

＜説明＞原子力規制庁

（2）県内原子力施設の新規制基準適合性審査の対応状況等について

＜説明＞①日本原燃株式会社

②東北電力株式会社

③リサイクル燃料貯蔵株式会社

④電源開発株式会社

⑤東京電力ホールディングス株式会社

（3）専門家会合の開催結果概要について

＜報告＞県（事務局）

6 閉 会

第29回青森県原子力政策懇話会 出席者名簿

【青森県原子力政策懇話会委員】（21名） ※印はオンライン参加

○団体代表

坂本 禎 智	八戸工業大学 学長
塩谷 進	日本労働組合総連合会青森県連合会 会長
高木 伸也	青森県医師会 会長 (代理：加藤三記夫 青森県医師会事務局長)
種市 恭子	青森県地域婦人団体連合会 会長 (代理：外崎れい子 青森県地域婦人団体連合会副会長)
若井 敬一郎	青森県商工会議所連合会 会長

○有識者

田中正子	株式会社青森入浴ケアサービス 代表取締役
平間恵美	特定非営利活動法人はちのへ未来ネット 代表理事

○専門家

稲垣 八穂広	九州大学大学院工学研究院 准教授
占部 逸正	福山大学 名誉教授
奥村 晃史	広島大学大学院人間社会科学研究科 教授
柿沼 志津子	量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所 副所長
※木村 浩	特定非営利活動法人パブリック・アウトリーチ 代表理事
佐藤 正知	北海道大学 名誉教授
柴 正敏	弘前大学 名誉教授
高橋 信	東北大学大学院工学研究科 教授
※前田 匡樹	東北大学大学院工学研究科 教授
三浦 信之	日本原子力研究開発機構 執行役 バックエンド統括本部長代理
※山本章夫	名古屋大学大学院工学研究科 教授

○公募委員

五十嵐 優一	会社員
川本 菜穂子	団体職員
高橋 公也	自営業

【国】

○経済産業省資源エネルギー庁

河野 太志 原子力立地・核燃料サイクル産業課長
高野 史広 核燃料サイクル産業立地対策室長

○原子力規制庁

長谷川 清光 原子力規制部 安全規制管理官（核燃料施設審査担当）
前川 之則 地域原子力規制総括調整官（青森担当）
小山田 巧 原子力規制部 地震・津波審査部門 安全規制調整官

○内閣府

永井 裕司 内閣府政策統括官(原子力防災担当)付 地域原子力防災推進官
宮崎 努 内閣府政策統括官(原子力防災担当)付 参事官補佐

【事業者等】

○使用済燃料再処理機構

佐藤 敏秀 理事長
村永 慶司 理事
溝口 茂久 総務部部長（地域担当）

○日本原燃株式会社

増田 尚宏 代表取締役社長
高瀬 賢三 代表取締役副社長 副社長執行役員
須永 隆俊 理事 地域・広報本部長代理 兼 経営企画本部長代理

○東北電力株式会社

増子 次郎 取締役副社長 副社長執行役員 原子力本部長
菅原 勲 原子力本部 原子力部部長
小林 正典 発電・販売カンパニー 土木建築部部長

○リサイクル燃料貯蔵株式会社

坂本 隆 代表取締役社長
赤坂 吉英 常務取締役 リサイクル燃料備蓄センター長
青木 裕 取締役 技術安全部長

○電源開発株式会社

浦島彰人	代表取締役副社長執行役員
倉田一秀	常務執行役員 大間現地本部長
柏原秀紀	原子力業務部長代理

○東京電力ホールディングス株式会社

宗一誠	常務執行役 青森事業本部長
太田武	青森事業本部 東通原子力建設所長
近藤世紀	青森事業本部 青森事務所長

○電気事業連合会

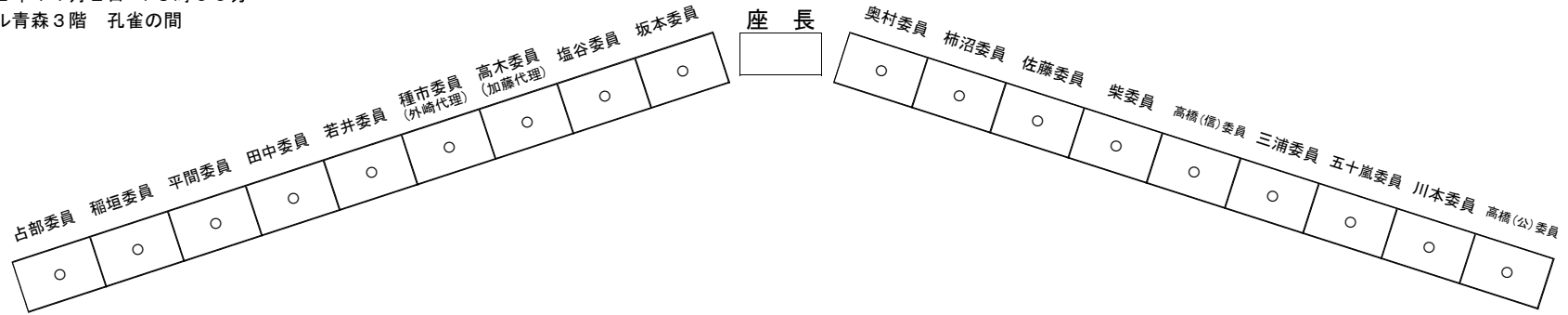
清水成信	副会長
大森武	原子燃料サイクル事業推進本部長
宇都宮和彦	青森事務所長

【青森県】

三村申吾	知事
青山祐治	副知事
柏木司	副知事
貝守弘	危機管理局長
若木憲悟	エネルギー総合対策局長

第29回青森県原子力政策懇話会 席図 【案件：事業変更許可】

令和2年11月2日 13時00分～
ホテル青森3階 孔雀の間



司会
笹山 参事

オンライン
用カメラ

PC
操作
席

(国)			(県・市町村)					
原子力 規制庁	原子力 規制庁	原子力 規制庁	危機管理局		エネルギー 総合対策局			
小山田 <small>安全規制調整官</small>	前川 <small>総括調整官</small>	長谷川 <small>安全規制管理官</small>	三村 知事	青山 副知事	柏木 副知事	貝守 局長	若木 局長	
			県					
			立地市町村		県			
			県					
			県					
			一般傍聴者					県
			一般傍聴者					

報道席

報道席

出入口

報道関係者出入口

第29回青森県原子力政策懇話会 席図 【案件：審査対応状況等】

令和2年11月2日 13時00分～
ホテル青森3階 孔雀の間

占部委員	稲垣委員	平間委員	田中委員	若井委員	種市委員 (外崎代理)	高木委員 (加藤代理)	塩谷委員	坂本委員
○	○	○	○	○	○	○	○	○

座長

奥村委員	柿沼委員	佐藤委員	柴委員	高橋(信)委員	三浦委員	五十嵐委員	川本委員	高橋(公)委員
○	○	○	○	○	○	○	○	○

オンライン
用カメラ

(国・事業者)

(県・市町村)

電事連	東京電力	電源開発	リサイクル 燃料貯蔵	東北電力	日本原燃	再処理機構	内閣府	資源 庁
清水 副会長	宗 青森本部長	浦島 副社長	坂本 社長	増子 副社長	増田 社長	佐藤 理事長	永井 推進官	河野 課長

危機管理局
エネルギー
総合対策局

三村 知事	青山 副知事	柏木 副知事	貝守 局長	若木 局長			
----------	-----------	-----------	----------	----------	--	--	--

PC
操作
席

事業者	国
-----	---

県	
---	--

事業者	国
-----	---

立地市町村	県	
-------	---	--

事業者	国
-----	---

県	
---	--

事業者	
-----	--

県	
---	--

事業者	一般傍聴者	県
-----	-------	---

一般傍聴者	県
-------	---

事業者	
-----	--

一般傍聴者	
-------	--

司会
笹山参事

報道席

報道席

出入口

報道関係者出入口

青森県原子力政策懇話会 委員名簿

(令和2年10月14日現在)

任期：令和元年10月14日～令和3年10月13日

区分	氏名	職名等	分野
団体代表 (7名)	阿保 直延	青森県農業協同組合中央会 会長	
	坂本 禎智	八戸工業大学 学長	
	塩谷 進	日本労働組合総連合会青森県連合会 会長	
	高木 伸也	青森県医師会 会長	
	種市 恭子	青森県地域婦人団体連合会 会長	
	松下 誠四郎	青森県漁業協同組合連合会 代表理事会長	(就任見込)
	若井 敬一郎	青森県商工会議所連合会 会長	
有識者 (3名)	田中 正子	(株) 青森入浴ケアサービス 代表取締役	
	平間 恵美	特定非営利活動法人はちのへ未来ネット 代表理事	
	三上 友子	(株) I・M・S 代表取締役	
専門家 (12名)	阿波 稔	八戸工業大学土木建築工学科 教授	建設材料学、維持管理工学
	稲垣 八穂広	九州大学大学院工学研究院 エネルギー量子工 学部門 准教授	原子力工学、核燃料サイク ル工学、放射性廃棄物管理
	占部 逸正	福山大学 名誉教授	放射線防護、放射線計測、 原子力防災
	奥村 晃史	広島大学大学院人間社会科学研究科 教授	地震地質学
	柿沼 志津子	量子科学技術研究開発機構 量子医学・医療部門 放射線医学総合研究所 副所長	放射線生物学
	木村 浩	特定非営利活動法人パブリック・アウトリーチ 代表理事	リスクコミュニケーション、 社会調査
	佐藤 正知	北海道大学 名誉教授	原子力工学(放射性廃棄物 管理、核燃料工学等)
	柴 正敏	弘前大学 名誉教授	地質学、岩石学
	高橋 信	東北大学大学院工学研究科 技術社会システム 専攻兼量子エネルギー工学専攻 教授	原子力学、安全工学、認知 工学
	前田 匡樹	東北大学大学院工学研究科 都市・建築学専攻 教授	建築構造、耐震設計
	三浦 信之	日本原子力研究開発機構 執行役 バックエン ド統括本部長代理	核燃料再処理
	山本 章夫	名古屋大学大学院工学研究科 総合エネルギー 工学専攻エネルギー安全工学講座 教授	原子力工学、核燃料工学、 原子核工学
公募 委員 (3名)	五十嵐 優一	会社員	
	川本 菜穂子	団体職員	
	高橋 公也	自営業	

(敬称略、区分毎に50音順)

青森県原子力政策懇話会設置要綱

(趣旨)

第1 県は、国の原子力政策、本県に立地する原子力施設の安全性、地域振興など原子力を巡る様々な課題について幅広い観点に立った意見を聴き、今後の原子力行政に適切に対応するとともに、県民の安全と安心を確保するため、青森県原子力政策懇話会（以下「懇話会」という。）を設置する。

(構成)

第2 懇話会は、25名程度の委員をもって構成し、座長及び座長代理を置く。
2 座長は、委員の互選により定める。座長代理は、座長が指名する。
3 委員は、専門家及び有識者等とし、知事が委嘱する。
4 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げないものとする。
5 委員が欠けたときにおける補欠の委員、又は増員によって就任した委員の任期は、それぞれ前任者又は現任者の任期の残存期間とする。

(開催)

第3 懇話会は、知事が招集する。
2 懇話会の議事運営は、座長が行う。
3 座長代理は、座長を補佐し、座長が会議に出席できないときは、座長代理が座長の職務を代理する。
4 知事は、必要に応じ一部の委員による会議を開催することができる。
5 知事は、必要に応じ懇話会に委員以外の者の出席を求めることができる。

(指導・助言)

第4 知事は、原子力施設の安全性に関わる課題等について、必要に応じ委員に指導、助言を求めることができる。

(庶務)

第5 懇話会の庶務は、危機管理局防災危機管理課において処理する。

(その他)

第6 この要綱に定めるもののほか、懇話会の運営等に関し必要な事項は知事が定める。

附 則

この要綱は、平成15年 9月11日から施行する。
この要綱は、平成16年 4月 1日から施行する。
この要綱は、平成17年 4月 1日から施行する。
この要綱は、平成17年10月 3日から施行する。
この要綱は、平成20年 9月18日から施行する。
この要綱は、平成28年 4月 1日から施行する。
この要綱は、令和 元年 7月 1日から施行する。

令和2年度 第29回青森県原子力政策懇話会

事前質問項目一覧表

順番	委員	番号	質問項目
1	稲垣委員	1	問) 六ヶ所再処理施設の体制の整備、手順書の整備等について (※)
		2	問) 六ヶ所再処理工場の安全・安定運転を確実に実施するための対応について
2	占部委員	1	問) 六ヶ所再処理施設の重大事故を仮定する際の考え方及び重大事故の放出量について (※)
		2	問) 六ヶ所再処理工場の長期間の運転中断による技術力低下リスクへの対応について
		3	問) 六ヶ所再処理工場の長期間の運転中断後の工程立ち上げリスクへの対応について
		4	問) 六ヶ所再処理工場の安全・安定運転を確実に実施するための対応について
		5	問) リサイクル燃料備蓄センターの事故対応力向上への取り組みについて
3	奥村委員	1	問) 大間原子力発電所の敷地の調査について
4	柿沼委員	1	問) 放射線防護の観点からの事故対応について
5	木村委員	1	問) 東通原子力発電所の原子力防災に係る基盤の整備について
		2	問) 函館市の状況について
6	佐藤委員	1	問) 六ヶ所再処理工場の安全・安定運転に向けた取組み及び日本原燃(株)の地域との共存共栄の取組みについて
7	柴委員	1	問) 基準地震動(解放基板表面の設定)について (※)
8	三浦委員	1	問) 六ヶ所再処理工場の安全・安定運転を確実に実施するための対応について
		2	問) 東通原子力発電所の原子力防災への取組み(訓練の強化)について
9	山本委員	1	問) 東通原子力発電所の新規規制基準への適合(安全対策)について
		2	問) リサイクル燃料備蓄センターの新規制基準への適合(施設関係)について
10	五十嵐委員	1	問) リサイクル燃料備蓄センターの事故対応力向上への取り組みについて
		2	問) 大間原子力発電所の主要な安全強化対策について
11	川本委員	1	問) 原子力防災への取り組みについて
		2	問) 六ヶ所再処理工場の重大事故時における工場等外への放射性物質等の放出の抑制について
12	高橋(公)委員	1	問) 六ヶ所再処理施設の外部事象による損傷の防止(航空機落下)について (※)
		2	問) 大間原子力発電所の安全対策工事の時期の見直しについて
		3	問) 六ヶ所再処理工場の重大事故のリスク評価とその対応について

※原子力規制庁回答